



「いちご狩り」その1

保育士「今日はいちご狩りに行くよ」
Gくん「やったー！ぼく、いちご狩りいっぱい食べるよ！」
保育士「…Gくん、食べるのは、い・ち・ご だよ」

「いちご狩り」その2

保育士「Sくん、何個食べたの？」
Sくん「ぼく、おっきいのを100個も食べたよ！」
保育士「えー！すごい」
Sくん「ほーら、はらまっかだ！」
(満腹のお腹、Tシャツは真っ赤に染まって…)

vol.2

くらしの豆知識

今回は悪徳商法の中から「次々販売」について紹介します。

【次々販売】とは？

◎言葉巧みに近づいて、消費者が一度契約すると、必要のない商品やサービスを次々と販売して過剰な量の契約をさせる手口です。

事例①：

1人暮らしをしている80歳になる母が、1年間で着物を4着、ネックレスを2つも買わされていることがわかりました。いずれも自宅を訪問してくる同じ業者から買っている様です。母は認知症気味で、業者に言われるがまま購入したようです。

※1人暮らしや、日中家に1人でお年寄りか狙われる悪徳商法の1つです。

※ unnecessary 過量販売を行う業者は、法律で行政処分の対象となっています。

「次々販売」の被害にあわないために

- 「家族と相談してから返事します。」と言い、その場では決して契約しない。
- ご家族のかたは、見慣れない商品や不審な契約書類などがなく、家の中や生活状況の変化に注意を払う。

「次々販売」のようなことや、その他にも不審な勧誘や訪問があった場合は、町民生活センター(町民課くらし環境係)までお電話ください。



指輪もいかがですか？

問い合わせ

町民課くらし環境係
85-6131

町報川柳 「紙」

樋口一杯選

佳作	悲しみも楽しい事も紙一重	小山沢	安達よしゑ
〃	一句詠みしき紙に綴る旅の宿	荒砥乙	大滝 栄子
〃	折り紙に願いを込める千羽鶴	畔 藤	菅原 敦子
〃	金儲け紙の重さに潰されて	山口	石川與次衛門
〃	チリ紙でポッケ一杯花粉症	荒砥乙	土谷 灯一
〃	七夕で短冊色紙願ひ込め	藤沢市	田苗 創真
〃	振り返る人生草紙泣き笑い	浅 立	高橋 とみ
〃	善と悪心で決まる紙一重	大 瀬	五十公野春巳
〃	幼子も上手につくる紙細工	浅 立	梅津美千子
〃	紙一重運の良い人悪い人	荒砥甲	井澤美佐子
〃	紙面記事倫理の欠如胸痛む	横田尻	金田 れん
〃	物忘れメモしたつもり紙が無い	佐野原	五十嵐とし
〃	思い出の手紙なかなか探せない	荒砥甲	丸山 正志
〃	ありがとう母の日祝う娘の手紙	畔 藤	梅津 いと
〃	平成に影を潜めた紙芝居	横須賀	大滝健次郎
〃	早春の紙を漉く手が赤くなる	荒砥甲	本間 義康
〃	昭和の子消しては書くの藁半紙	荒砥甲	鈴木みき子
〃	紙風船を菓屋くれたよき時代	高 岡	長岡みち子
〃	紙一重明暗分けた出かけの茶	高 岡	安部 柳子
〃	夢を子ら色紙に託した天の川	山 口	渡部喜美子
〃	紙一重ピンチを逃れ生きて行く	浅 立	小形 義三
〃	折り込みに誘われ二人遠出する	十 王	川部 隆雄
〃	赤紙で異国に散った兄思う	十 王	鈴木 しげ
〃	指なめて紙幣数える夢を見た	高 岡	須貝 仲次
〃	母思う色紙似顔絵涙する	荒砥甲	五十公野かをる
〃	紙一枚箱を入れたり別れたり	西高玉	金田 コト
〃	リトマス紙変わる子の目に夢描く	貝 生	保科 努
〃	深山和紙男武将のかぶと折る	鮎 貝	横沢 直太
〃	人生を和紙のねばりに学びたい	十 王	守谷 三郎
〃	白紙には戻れぬ過去が胸にある	浅 立	梅津たつゑ
〃	ありがとう遺書は白紙のままが良い	一 杯	
次回	「カルテ」七月末まで。「すれ違い」八月末まで。		
はがきに三句	白鷹町荒砥乙四二八―二	高橋	白兔 宛

※広報しらたか「6月14日号」掲載、「町報川柳」の片倉時美さんの名字は、正しくは「片山」でした。お詫びして訂正いたします。